

クックパッド「FoodClip」

「家ごもり長期化による食卓変化9選」 ～「兆し」がある9つのキーワードを、予測とともに紹介～

リモートワーク勤務や学校の休校措置、外出自粛によって、今「家庭での調理」に大きな変化が起きている。長期化する恐れもあるこの状況において、生活者の調理ニーズはどのように変化しているのか。月間5,200万人が利用するクックパッドの検索データを活用しながらその兆しを見つめ、今後の傾向について予測してみた。

クックパッドは、日本世帯の80%に相当する月間5,200万人がアクセスし、2020年4月時点では約320万件のレシピが投稿されている。この莫大な利用規模によって、クックパッドには大量の検索・閲覧データが蓄積されている。生活者が「いつ、何を調べ、何を検討したのか」がデイリーにわかり、これらのデータを分析することで、生活者が食に求めていることを迅速かつ正確に解き明かすことができる。

下の表は2020年4月10日時点の検索頻度ランキングで、注目すべきは「前年同期比」。異例のメニューがランクインしており「クレープ生地」や「バナナケーキ」「ミルクレープ」などが登場していたり、6位には「春」というキーワードが挙がっている。

季節指数		前年同期比		SIランキング				
位	食材名	指数	位	食材名	成長率	位	食材名	SI値
1	タルゴナコー	2466%	1	いちご飴	833%	1	簡単	53.7
2	ビー	1915%	2	オートミール	397%	2	キャベツ	20.3
3	タルゴナコー	1915%	3	かぼちゃ煮	378%	3	豚	19.2
4	ビー	850%	4	下味冷凍	334%	4	鶏胸肉	14.3
5	春	850%	5	クレープ	305%	5	竹の子	13.1
6	春キャベツ	506%	6	春	295%	6	パスタ	12.9
7	若竹煮	452%	7	クレープ生地	287%	7	卵	12.8
8	いちご飴	423%	8	スフレチーズケーキ	275%	8	ホットケーキミックス	12.7
9	菊ご飯	417%	9	バナナケーキ	266%	9	なす	12.6
10	竹の子	397%	10	メレンゲクッキー	233%	10	モヤシ	12.2
11	ホタルイカ	357%	11	ミルクレープ	233%	11	じゃがいも	11.7
12	たらの芽	316%	12	卵炒め	233%	12	鶏	11.7
13	あく抜き	315%	13	型抜きクッキー	214%	13	サラダ	11.4
14	わらび	303%	14	—	—	14	大根	11.2
15	新たまねぎ	291%	15	—	—	15	鶏もも肉	10.7
16	わけぎ	280%						

①「ホットケーキミックス」の検索が伸長
「ホットケーキミックス」の検索頻度は、2020年3月18日以降は、2018年と2019年の検索頻度とは異なり、伸長傾向が見られる。

「ホットケーキミックス」との組み合わせ分析では、上昇傾向のメニューを抽出してみると、「バナナケーキ」や「クレープ」「スコーン」など。

ホットケーキミックスは小学生にも作れるくらいの簡単な調理工程であり、クレープにした場合は焼成後にホイップクリームやフルーツなどで自分好みのトッピングを楽しめる。自宅で過ごす日々が長期化するにあたって、“時間を楽しく過ごせるお菓子”というものが求められているのかもしれない。

②初夏からの家ごもりおやつ需要は“ゼリー系？”
これから夏に向けて気温が徐々に上昇していくにつれて、「お菓子」のニーズにも変化が生じてきそう。ゼリーの検索ピークは7月であるが、既に前年同週比よりも上昇してきており、今年は家ごもり環境等を背景に5月頃から頻りに検索される可能性が高いと思われる。

ゼリーの検索ピークは7月であるが、既に前年同週比よりも上昇してきており、今年は家ごもり環境等を背景に5月頃から頻りに検索される可能性が高いと思われる。

③「ホットプレート」の検索が伸長
「ホットプレートの検索結果は今年2月から急上昇。今やホットプレートは日常使いにシフトしているといえる。子どもと一緒に自宅で過ごす時間が増え、“食事シーン+楽しさ”や調理の“ライブ感”が味わえる「ホットプレート」が求められているといえる。

ホットプレートとの組み合わせ分析では、「もんじゃ」の検索が3月から急上昇しており、「ピザ」

も微増傾向にある。また、特徴的なのは「簡単」との組み合わせが伸長している点である。特定のメニューは決まっていなかったものの、ホットプレートで簡単に作れるメニューを探していることがわかる。

④全世代に愛される「餃子」

「餃子」は季節を問わず安定して人気のあるメニューであるが、今年2月からは伸長し続けている。餃子キーワードの検索頻度ランキングでは、餃子の皮やたねの検索も上がっている。年代別では、20代から40代まで一定して検索していることが判明。

餃子が全世代で愛されている背景としては、ひき肉やキャベツ、ニラなどの材料が比較的安価に揃えられること、冷凍保存ができること（今は大量に作り置きする時間的余裕がある）、大人も子どもも大好きなメニューであることなど、いくつもの理由が考えられる。

20代の主に単身女性の場合は、オンライン飲み会などのシーンで餃子をつまみに楽しんでいることが想像できる。30代以降のファミリー世代の場合は、子どもと一緒に餃子を包んでアクティビティとして楽しめる点も人気のようだ。子どもを持つファミリー世代では、ホットプレートを活用して親子で餃子を焼くという調理行動も想像できる。

2020年04月のSI値ランキング

位	キーワード	SI値	季節指数	前年対比
1	餃子	5.6	153.1	155.3
2	餃子の皮	1.8	154.4	160.5
3	餃子のたね	0.38	135.9	216.6
4	水餃子	0.33	97.2	117.2
5	餃子のつくだれ	0.12	118.6	116.0
6	冷凍餃子	0.079	104.3	107.8
7	スープ餃子	0.079	95.1	96.2
8	うどんぎょうざ	0.059	177.0	272.3
9	揚げ餃子	0.056	110.2	116.4
10	余った餃子の皮	0.055	129.2	117.5
11	はねつき餃子	0.047	115.1	192.6
12	海老餃子	0.046	119.9	129.1
13	手作り餃子	0.037	186.0	230.7
14	焼き餃子	0.037	159.8	243.7
15	包まない餃子	0.034	177.2	214.7

⑤「春」の検索が伸長

「春」の組み合わせ分析を見てみると面白い結果が出てきた。2019年までは「お弁当」であったが、2020年は「節約」が突如組み合わせランキング1位に。次いで「炊き込みご飯」や「パスタ」となっている。花見自粛や新学期再開の遅れで弁当を作る

機会は減り、自宅での食事頻度が増えたことで、節約を意識しながらも春らしい献立を楽しみたいという気持ちが伺える。今後、夏や秋などの季節名はもちろん、シーズンイベント（催事）でも高検索が予想される。母の日や父の日のイベントを自宅で家族と楽しむために「何かを作ってお祝いしよう」とする検索行動が高まるのではないだろうか。

⑥「旬野菜」に大きな影響なし

「春キャベツ」や「新たまねぎ」の検索頻度では、環境要因による大きな変化はない。

⑦「ピザクラフト」や「パン」の検索が伸長

今年2月以降「パン」や「ピザクラフト(ピザ生地)」の検索が急上昇。また、強力粉や小麦粉の検索頻度も上昇しており、「強力粉×パン」「小麦粉×お菓子」などで検索されている。

⑧じっくり煮込む「角煮」や「チャーシュー」が上昇

以前より自宅で過ごす時間が増えた今、「時間がかかる煮込み料理にトライしたい」と考えている人が増えている模様。外出自粛となった頃から「角煮」や「チャーシュー」「スパイスカレー」などの検索も上昇している。

⑨「下味冷凍」も継続的な人気キーワード

2019年食トレンド大賞を受賞した「下味冷凍」が、今もなお注目されている。背景には、まとめ買いによる食材在庫の確保と調理機会の増加が考えられる。

「下味冷凍」の2019年から2020年の月別検索頻度では、今年2月から上昇。また、調味料と組み合わせた検索では、味噌や酢とのマッチ度が上がっている。「下味冷凍のレシピにチャレンジしたいけど、どんな調味料を使えばいいのかわからない…」そんな生活者も多くいるはずであり、レシピ提案なども効果的といえる。

※当情報は、株式会社クックパッド様ご協力のもとに作成・掲載しております。詳しくは以下のURLにアクセスしてください。

<https://foodclip.cookpad.com/1633/>

